学校番号	T3036

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	1	COMET　English Communication Ⅰ（数研出版）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業では、英語の語彙や文法について、基本的なことからゆっくりと学んでいきます。
・学習を進めていくなかで聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を行い、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力の素地を作ることを目標とします。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発音されれば、身近な単語や句を正確に聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと発話される基本的な語句や表現からなる英文の（１文）の内容を正確に聞き取ることができる。	・基本的で具体的な語句や句の意味を、実物を思い浮かべて理解することができる。 ・日常生活で使われる短い簡単な指示やレストランのメニューなどを理解することができる。	・決まった日常のあいさつや季節のあいさつのやり取りをすることができる。 ・決まった表現や形式を用いて、日時や場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて、身近な物事について簡単な説明をすることができる。	・基本的な単語をブロック体で正確に書くことができる。 ・例を参考にしながら自分自身についての基本的な情報を書くことができる。 ・基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基本的な知識を身につけているとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの簡単な活動において適切に活用できる技能を身につけている。	・取り扱われているテーマについて、文章の概要や要点を理解している。また、取り扱われている題材について、自分の意見や考えを適切に表現している。	・外国語と自らの生活との関わりに気づき、英語を身近なものと捉えようとする。 ・外国の言語や文化に対する興味を持ち、わからないことは自分で調べるなどして、積極的に学習を進めようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Get Ready! Lesson1 “From the Window of the Shinkansen” （過去形）	聞くこと	a: 英語の音声の特徴を理解し、時制の違いや否定文、疑問文のイントネーションの違いを理解している。 b: 取り上げられている題材や課題について、必要な情報を聞き取っている。 c: 取り上げられている題材や課題について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 基本的な文の構造や時制の違いを理解し、教科書の本文の内容を理解するための語彙や文法の知識を身に付けている。 b: 題材について書かれている短い英文を読み、概要や要点を捉えている。 c: 題材について書かれている短い英文を読み、概要や要点を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: be 動詞と一般動詞の働きの違いを理解し、さらに現在時制と過去時制の違いを理解している。 b: 日常的なこと（自己紹介など）について、一般動詞、be 動詞を適切に使い分け、時制の違いも意識しながら話している。 c: 日常的なこと（自己紹介など）について、一般動詞、be 動詞を適切に使い分け、時制の違いも意識しながら丁寧に話そうとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: be 動詞と一般動詞を適切に区別することができる。基本的な文型や時制の違いを理解している。 b: 日常的なこと（自己紹介や昨日したことなど）について be 動詞や一般動詞の使い方を意識して、物事の時系列に沿って短い文章を書いている。 c: 日常的なこと（自己紹介や昨日したことなど）について be 動詞や一般動詞の使い方を意識して、物事の時系列に沿って短い文章を書こうとする。	定期考査
	中間考査			
	Lesson2 “Miniature Art: The World of Tanaka Tatsuya” （進行形） Lesson3 “Onigiri Goes Overseas” （助動詞） Lesson4 “Pictograms” （不定詞）	聞くこと	a: 進行形、助動詞、不定詞が使われた英語を聞いて、意味を理解することができる。 b: 取り上げられている題材に関する英語を聞き、概要や要点を捉えている。 c: 取り上げられている題材に関する英語を聞き、概要や要点を捉えようとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 教科書の本文の内容を理解するために必要な語彙や文法の知識を身に付けている。 b: 身近なこと（趣味や文化など）に関する英語で書かれた短い文章を読んで概要を捉えている。 c: 身近なこと（趣味や文化など）に関する英語で書かれた短い文章を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 聞き返したりするなどの、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b: 身近なことの話題について、簡単な表現を使いながら英語で伝えあっている。 c: やり取りを円滑にするために、自分に必要なメモを準備したり、相手が理解しやすいようにゆっくり話すなどの配慮をしたりしながらコミュニケーションを進めようとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: 進行形、助動詞、不定詞の用法、役割を正しく理解している。 b: 身近なこと（趣味や文化など）について、自分自身のことや考えを簡単な英語を用いて書いている。 c: 身近なこと（趣味や文化など）について、自分自身のことや考えを簡単な英語を用いて書こうとしている。	定期考査
	期末考査			

後期	Lesson5 “Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler” (動名詞) Lesson6 “Convenience Stores: Keys to Their Success” (that 節) Lesson7 “High School Beekeepers” (現在完了形)	聞くこと	a: 動名詞、that 節、現在完了形が用いられた英語を聞いて、意味を理解することができる。 b: 身の回りにあるもの（職業など）についての英語を聞き、概要を把握している。 c: 身の回りにあるもの（職業など）についての英語を聞き、概要を把握しようとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 教科書の本文の内容を理解するために必要な語彙や文法の知識を身に付けている。 b: 身の回りにあるもの（職業など）について書かれた英語を読み、内容の概要や書き手の意図を捉えている。 c: 身の回りにあるもの（職業など）について書かれた英語を読み、内容の概要や書き手の意図を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと（発表）	a: これまでに学習した文法事項や表現の用法、不定詞の用法を理解している。 b: 身の回りにあるもの（職業など）について、学習した知識を用いて発表したり説明したりする。 c: 題材について、聞き手に伝わりやすくなるように配慮しながら英語で発表しようとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: 動名詞、that 節、現在完了形の用法を正しく理解している。 b: 身の回りにあるもの（職業など）について、考えたことや感じたことなどを、簡単な語句や表現を用いて英語で書いている。 c: 身の回りにあるもの（職業など）について、考えたことや感じたことなどを、簡単な語句や表現を用いて英語で書こうとしている。	定期考査
	中間考査			
	Lesson8 “Smart Farming” (受け身) Lesson9 “Fashion Waste” (比較) Lesson10 “William and His Windmill” (関係代名詞)	聞くこと	a: 受け身、比較、関係代名詞が用いられた英語を聞いて意味を理解することができる。 b: 日常的なこと（生活を快適にするテクノロジーなど）に関する英語を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 日常的なこと（生活を快適にするテクノロジーなど）に関する英語を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとする。	授業内での活動
		読むこと	a: 教科書の本文の内容を理解するために必要な語彙や文法の知識を身に付けている。 b: 日常的なこと（生活を快適にするテクノロジーなど）について書かれた英語を読み、内容の概要や書き手の意図を捉えている。 c: 日常的なこと（生活を快適にするテクノロジーなど）について書かれた英語を読み、内容の概要や書き手の意図を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと（やり取り）	a: 日常的なことを描写する表現を理解している。 b: 日常的なこと（生活を快適にするテクノロジーなど）について、適切な表現で描写し伝え合っている。 c: やり取りを円滑にするために、自分に必要なメモを準備したり、相手が理解しやすいようにゆっくり話すなどの配慮をしたりしながらコミュニケーションを進めようとしている。	授業内での活動 スピーキングテスト
		書くこと	a: 受け身、比較、関係代名詞の用法を理解している。 b: 日常的な話題（生活を快適にするテクノロジーなど）について、簡潔にまとまりのある文章を書いている。 c: 日常的な話題（生活を快適にするテクノロジーなど）について、簡潔にまとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度